

クラス：	夏の助動詞スペシャル EGrspM-31/8
曜日：	Wednesday 後期3週間のみの開講
時間：	13:30-16:20
レベル：	中級
講師：	Ms.大石美幸
目的：	英文法のよりよい理解と会話への応用に欠かすことのできない、大事な品詞、助動詞をインテンシブに学びます。 通常助動詞というと、can, may, would, should, etc と、modal 助動詞のみを思いつくでしょうが、今回は、modal 助動詞以外の助動詞との比較も取り上げ、さらに発音との関係にもリンクさせて行う予定です。 まず、modal 助動詞とそれ以外の助動詞の違いを知り、次に、各 modal 助動詞の微妙なニュアンスの違いをくみ取り、会話において正しい使い分けができるようになることを目的とします。 特に、学校英語で教えられた、*‘can’ = 「できる」、*‘could’ = 「‘can’ の過去形」、*‘should’ = 「べき」、*‘would’ = 「‘will’ の過去形、または丁寧表現に使う」といった偏った思い込みからの解放を目指し、それぞれの本当の意味、使い方に焦点を当てて学習します。 英文法の陰の立役者、助動詞の奥深さを知り、英語運用の強い味方にしてください。
授業内容：	最初に上記二タイプの助動詞の違いを明らかにし、後、主な modal 助動詞をカバーします。 知識のための文法ではなく、実際に使うための文法練習になるよう、例文や練習問題を発音、抑揚に気をつけて音読していきます。頭ではなく体に覚えこませるためです。特に使い分けが難しいとされているものには、例文作成を伴わせ、使える文法を目指します。 カバーする助動詞は次の通りです。 can/can't, could, could have (done), may, might, may/might have (done), will/won't, will have (done), would, would have (done), shall, should, should have (done), had better, ought to, ought to have (done), must, have to, mustn't, needn't, must have (done)
教材：	プリント配布
備考：	夏講座ならではのインテンシブさで、日ごろのモヤモヤを解消していただきたいと思います。同時に、秋以降の学習へのバネにできるよう、集中した学びの機会としてとらえてください。